



かしましょう 鹿島小 2022



令和4年度 じゅうてんもくひょう 重点目標「よくきき みとあ よく考え 認め合おう」

タブレットの活用を進めています

先週は、突然のタブレット持ち帰りにもかかわらず、ご協力頂きありがとうございました。ご存知のように、日本全国でGIGGA（ギガ）スクール構想でICTが整備されています。日本中の小中学生一人に1台のタブレットが整備され、子どもたちのICTスキル向上と情報活用能力の育成が求められています。今後は、Society5.0社会の実現を目指して、様々な分野でICTの活用が進んでいくことはニュース等によく見聞きします。また、コロナ禍がネットワーク利用に拍車をかけました。リモート出勤、リモート会議、リモート帰省などもその一端です。他方で、ネットの長時間利用による健康被害も懸念されており、注意していかなくてはなりません。

さて、今年度も本校では、タブレット利用を推進していきます。1学期は、一台一台に様々な設定に取り組んでまいりました。2学期からは以下の点を中心に活用を進めていきます。

- ① 「ラインズeライブラリ」学習ドリルの活用。（自分に合った学習課題を選択できます）
- ② Google クラウドームを利用したリモート授業。（離れた場所からつながります）
- ③ 「ロイロノート」での協働学習や国語算数ドリル。（互いの意見や考えを可視化できます）

①や③の学習ドリルは、自分の力に合わせてドリル課題を選択したり考えを集約したりできます。基礎学力の向上や、思考力・表現力の向上をねらいとして取り組んでいます。②のリモート授業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全校集会や児童会集会などを、集まることなく、3密を避けながら実施することができます。

子どもたちも慣れるまではもう少し時間がかかるかも知れませんが、子どもたちは我々大人よりも順応力が高く、すぐに使えるようになると思います。週末には、ご家族と一緒に操作しながら、正しい使い方や利用時間のルールについて話し合ってください。

今後の活用方法について

新型コロナウイルスで陽性になったり、濃厚接触者になったりした時は出席停止になりますが、タブレットを利用すれば、自宅から授業に参加したり学習課題に取り組むことができます。現在、本校職員も使い方を勉強して頑張っています。現在のコロナ第7波の後でも活用できるようにしていきたいと考えています。発達段階によっても操作スキルに違いがありますので、できるようになったら、順次進めていく予定です。

市のWi-Fi環境整備事業について

以前にも連絡メールでお知らせいたしましたが、ご家庭内のWi-Fi環境を整備するために市の支援事業があります。まだ利用されていない方は、ご利用を検討されてみてはいかがでしょうか。（裏面参照）